

No 02

Example Report

Builder /
リアライズ

Note /
東信地区 R邸
家族構成 4人

森に溶け込む 平屋のセカンドハウス



A_雑木林の中に佇むRさんのセカンドハウス。屋根勾配2/10以上とする地域の景観条例に配慮しつつ、切妻屋根の片側を延ばした招き屋根がモダンな表情を演出。B_Rさんは、妻と二人のお子さんとの4人家族。セカンドハウスで過ごす長期休暇を待ちにしている。

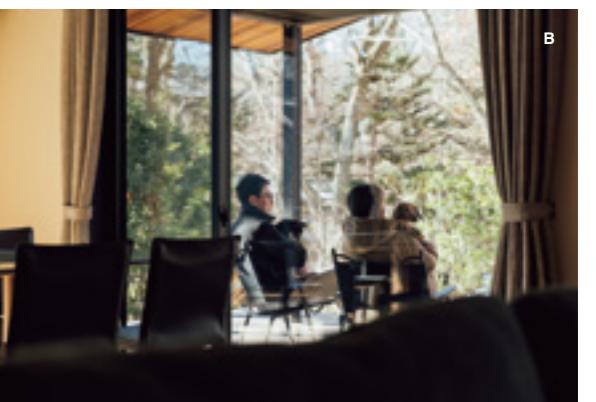
高原エリアの風土を熟知し、厳しい気候条件や地域の建築ルールに沿いながら、洗練された佇まいを実現できるのも同社を選んでいます。樹齢30年を超えた「木々」となれる住まいを目指しました」と営業担当の田中さん。外構は、地域の気候や植生を熟知した造園会社に依頼。既存の樹木を生かすることで、まるで以前からそこにあったかのよう

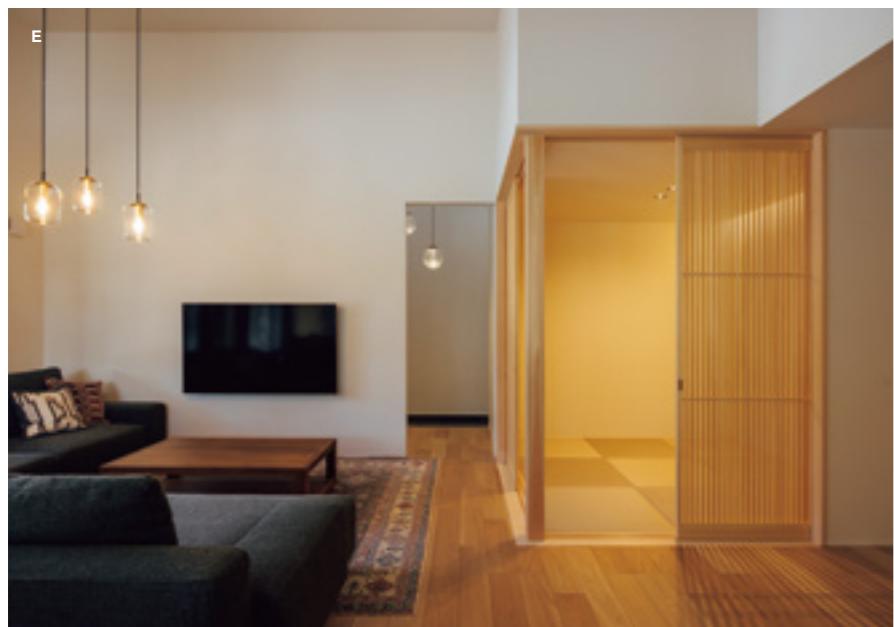
で待望のセカンドハウスを手に入れたRさんご家族。自宅のある都会から毎月のように訪れる夏と冬の休暇には長期滞在をしています。

「森が広がるロケーション、LDKから眺める非日常的なビュー。『いつかこの地に住まいをもちたい』という夢が、この家で叶いました」

リアライズが設計施工した住宅と出会い、国内有数の別荘地

樹齢30年超の木々になじむモダンなデザイン



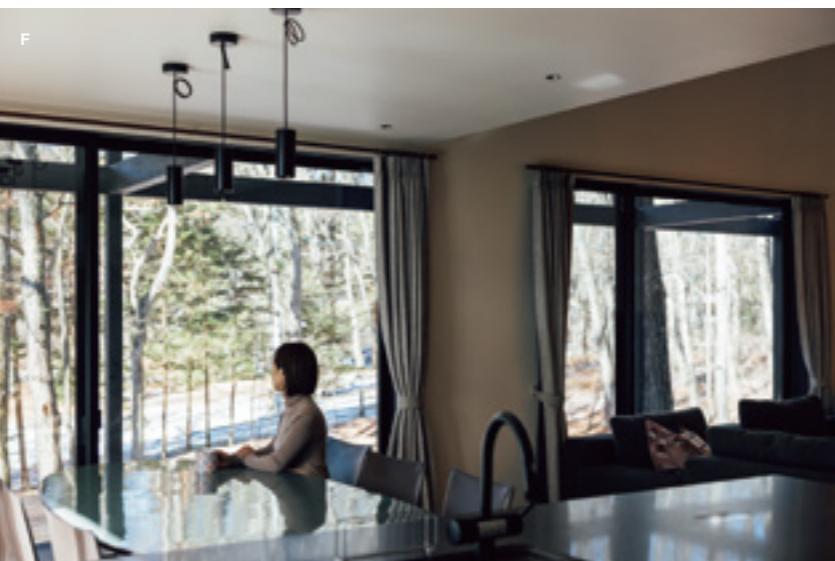
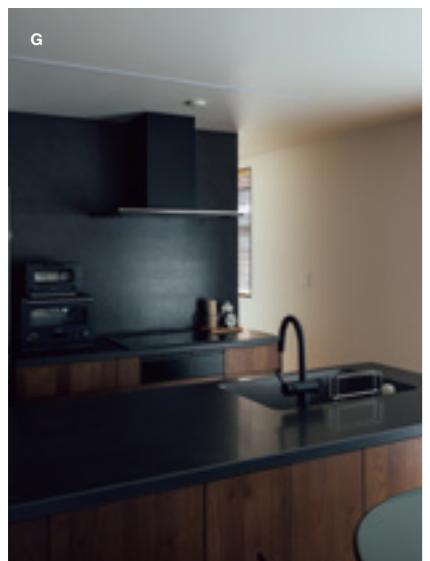


R邸は、平屋ながら風景を見下ろす立地も相まって、まるで2階建てのような開放感も味わえます。庭に面した南西にはLDKを配し、ワイドなデッキ

炎のある暮らしの豊かさも、Rさんがこの家で知ったことの1つ。過ごしやすい季節には庭で焚き火をするのが何よりの楽しみ。緑に囲まれて炎を見つめ薪のはぜる音に耳を澄ますと、心も体も解き放たれ、「自分をリセットできるんです」。

室内では、憧れだった薪ストーブのある暮らしを実現。高い断熱・気密性能によって、冬でも薪ストーブ1台で家中が暖まり、「寒さを感じることはあります」と話します。

自然を感じられるデッキテラスも、お気に入りの場所。降水量の多いこの地域では、屋根のある屋外空間が暮らしの幅を広げてくれます。澄んだ空気の中で朝食をとったり、雨音をBGMに読書や昼寝を楽しんだり……。快適に暮らしつつも自然と深くつながる住まい。ここには森とともに生きる贅沢が息づいているのです。



広大な庭、自然と一緒にLDKで楽しむ炎の豊かさ

R邸は、平屋ながら風景を見下ろす立地も相まって、まるで2階建てのような開放感も味わえます。庭に面した南西にはLDKを配し、ワイドなデッキ

テラスを計画。ソファやチャアに腰掛けると、森と自分とが溶け合うような感覚を体感できます。「理想的な平屋とは何かを考えて設計しました。敷地の広さを生かし、LDKから庭を一望できる贅沢な配置としています」と田中さん。

炎のある暮らしの豊かさも、Rさんがこの家で知ったことの1つ。過ごしやすい季節には庭で焚き火をするのが何よりの楽しみ。緑に囲まれて炎を見つめ薪のはぜる音に耳を澄ますと、心も体も解き放たれ、「自分をリセットできるんです」。

室内では、憧れだった薪ストーブのある暮らしを実現。高い断熱・気密性能によって、冬でも薪ストーブ1台で家中が暖まり、「寒さを感じることはあります」と話します。

自然を感じられるデッキテラスも、お気に入りの場所。降水量の多いこの地域では、屋根のある屋外空間が暮らしの幅を広げてくれます。澄んだ空気の中で朝食をとったり、雨音をBGMに読書や昼寝を楽しんだり……。快適に暮らしつつも自然と深くつながる住まい。ここには森とともに生きる贅沢が息づいているのです。



C_森を見晴らす約27畳のLDK。L字型の壁で空間を緩やかに分けつつ、どこにいても家族の

気配と一体感を感じられる。D_以前の住まいから持ち込んだ家具が空間に自然に溶け込み、白を基調とした室内にダークグレーが落ち着きを添える。ペンダントライトはリアライズのセレクト。

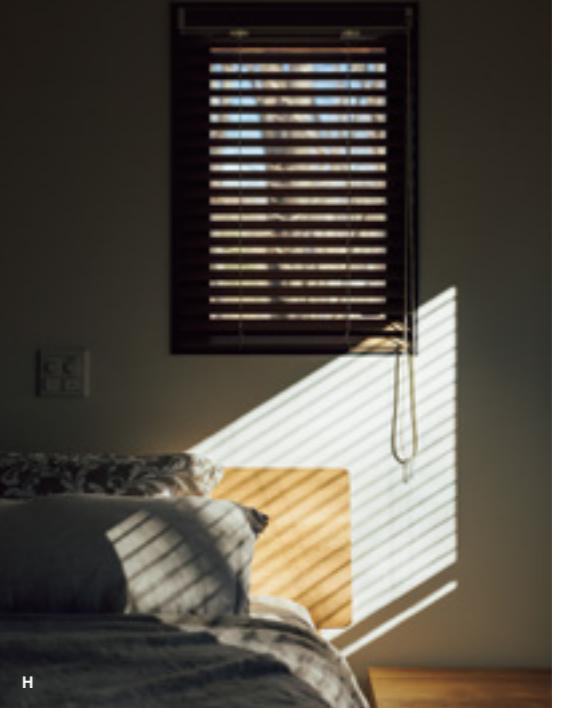
E_リビング脇に設けた4.5畳の和室。縦格子の引き戸と縁のない畳がモダンな空間に調和する。F_ダイニングは、デッキテラス越しに森を望める特等席。G_艶のある黒を選んだキッチンカウンター。動線と収納にも配慮して、誰もが立ちたくなる使いやすいキッチンを追求した。



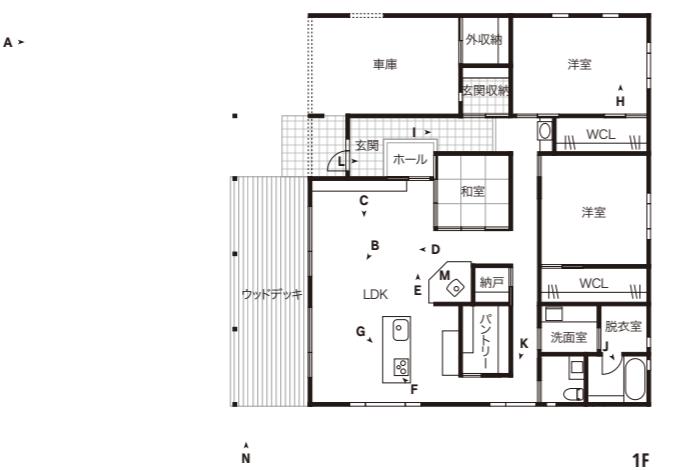
M_冬は、リビングの薪ストーブに火を入れるのが日課。森で拾った枝を焚きつけ材として活用している。

N_幅約8m、奥行き約2.7mのデッキテラスは、屋根に守られた“もう一つの部屋”。一人で庭を眺めたり、愛犬と遊んだりと多彩な過ごし方ができる。

H_東側の寝室は、外からの視線に配慮して窓のサイズを抑え、風景を切り取るように配置。 I_玄関につながる洗面スペースは、直線と円を組み合わせたモダンなデザイン。 J_浴室には石張りのユニットバスを採用。「旅先での体験を生かし、非日常感を大切にしました」と同社代表の篠原さん。 K_落葉樹の葉が落ちる秋冬には、やわらかな陽光が室内にたっぷりと差し込む。 L_屋根勾配がそのまま現れた、開放感あふれる玄関ホール。



PLAN



DATA

敷地面積——1013.64m² (306.01坪)
延床面積——174.69m² (52.74坪)
1F面積——174.69m² (52.74坪)
テッキ面積——22.36m² (6.75坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ペタ基礎 構造材／柱：スギ集成材、梁：ペイマツ集成材、土台：ヒノキ 断熱材／屋根：アクリフォーム180mm、壁：アクリフォーム85mm、基礎：アクリフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：板張り、その他：レッドシダー（軒天） 主な内装仕上げ／天井・壁：クロス、床：突き板 開口部／複合樹脂サッシLow-E 複層ガラス(YKK APW330) キッチン／LIXIL リシェル キッチン熱源／IHクッキングヒーター バスルーム／アステック WABURO 暖房の種類／薪ストーブ・床暖房

Comment

Owner: Rさんご家族

Builder: 代表／篠原幹雄さん

Q1_ 家づくりで一番大切なことは？

A 居心地の良さはもちろん、立地も含めて、この住まいのすべてを気に入っています。

Q2_ こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 完成した状態で購入しましたが、特に自然と一体になれるデッキテラスが気に入っています。

Q3_ このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A 住まいのクオリティ、立地、断熱・気密性、そして担当者の人柄まで、すべてに満足しています。

Q1_ この家のコンセプト、ポイントは？

A シンプルでタイムレスな建築様式を軸に、風土や建築条例に調和する材を選び、長く愛されるデザインを目指しました。

Q2_ この家の見どころを3つに絞るなら。

A 招き屋根とレッドシダーが印象的な外観、2階建てのような開放感のある平屋、自然を満喫できる広いデッキテラス。

Q3_ 家づくりで一番大切なことは？

A お客様の想いを形にし、幸せな時間を重ねていただくこと。使いやすさの中に遊び心も織り込んでいます。